

「子宮頸がん大学連携セミナー」開催報告

子宮頸がんは、近年、20代～30代の若い女性に増えていますが、この世代の方が、子宮頸がんに関する正しい知識を持つ機会が少ないのが現状です。

そこで、愛知県では、大学生の皆さんに正しい知識を持っていただくため、平成26年度から大学と連携し、セミナーを開催する取組を始めました。

平成30年度は愛知県立大学において、下記のとおり実施しました。

記

開催日時 平成30年11月28日（水）午後0時15分～午後1時15分

開催場所 愛知県立大学 H棟 H005 特大講義室

主催 愛知県・愛知県立大学

参加者 上記大学の学生、教職員等 71名



講演① がんは予防できると思いますか？

<講師>

名古屋市立大学 大学院医学研究科
公衆衛生学分野 研究員 渡邊美貴先生

<内容>

渡邊先生の講演では、がんはどのような病気か、生活習慣によるがんの予防などがんの基礎知識についてのお話と、20代～30代の若い女性に増えている子宮頸がんの原因、予防法、早期発見のためにがん検診を受けることの大切さなどをご説明いただきました。



講演② 大学生でがんを経験して

<講師> 山下芙美子 さん

大学2年生でがんに罹患され、現在は社会保険労務士としてご活躍されています。

<内容>

がんの体験者である山下さんから、がんと診断され、学生生活や就職、結婚など将来へ抱いた不安や、就職活動で困ったこと、また、がんになってもしっかりと働ける、がんを抱えて生きることは特別なことではないなど、ご自身の体験、思いをお話いただきました。



<参加者アンケートより>

- *医学の面やがん経験の面から、がんのことを知れて良かったです。自分のことも家族のこともパートナーのことも考えていかなければならないと思った。
- *大学の授業とどのように両立していたのか、どのような副作用に苦しめられていたか、就職活動でぶつかった壁など、具体的で身近に感じられるお話がとても心に響いてがんについて考えるきっかけになりました。

⇒ 子宮頸がんの認知度に関するアンケートでは、参加者の79%が「子宮頸がんの主な発生原因がHPV感染であること」を知らず、また、83%の方が「子宮頸がん検診が20歳から推奨されていること」を知らない、という結果でした。

愛知県では、今後もこのようなセミナーを実施し、若い世代の方に、がんとがん検診についての正しい知識を持っていただく機会を増やしていきたいと思っております。